

## 経皮吸収型アレルギー性鼻炎治療剤について

アレルギー性鼻炎は、鼻粘膜の肥満細胞や好塩基球に結合したIgE抗体に、外界から侵入した抗原が結合し、ヒスタミンやロイコトリエンといったケミカルメディエーターが遊離されることで発症します。発作性・反復性のくしゃみ、水様性鼻漏や鼻閉といった症状をきたす疾患です。Ⅰ型アレルギーに属し、通年性と季節性の2つに分類されます。通年性のもはダニ、ハウスダストやカビ、季節性のもはスギ科、イネ科やキク科（ヨモギ属、ブタクサ属）等の花粉が主なアレルゲンとなっています。通年性アレルギーは症状が常態化しているため、治療をせずに放置されることがあります。その結果、鼻粘膜の腫脹による強度の鼻閉のため手術療法が必要になることもあります。アレルギー性鼻炎は体質的な疾患であるため、根治治療は難しく、抗ヒスタミン薬、局所ステロイド薬や抗ロイコトリエン薬等による継続的な薬物治療が必要となります。

2018年4月に販売開始となったエメダスチンフマル酸塩経皮吸収型製剤（アレサガ<sup>®</sup>テープ）は、1日1回貼付するテープ剤であり、アレルギー反応による肥満細胞からのケミカルメディエーター遊離抑制作用と、抗ヒスタミン作用を併せ持つ抗アレルギー剤です。本邦における既承認の抗ヒスタミン薬の剤形は、経口剤、点鼻剤、注射剤であったため、経皮吸収型製剤は新たな治療選択肢になり得ます。貼付可能範囲が広く（胸部、上腕部、背部、腹部）、24時間毎の貼り替えて良いため、アドヒアランス向上が期待されます。経皮吸収型製剤は経口剤と異なり食事の影響を受けにくいいため、食事の有無及び食事時間に配慮する必要がなく、安定した血中濃度が得られます。また、嚥下能力の低下した患者や誤嚥のリスクのある患者へも使用できます。一方で、他の抗ヒスタミン薬と同様に眠気を催すことがあるため、自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないように十分注意することが必要です。また、適用部位に紅斑、掻痒感等が現れるのを防ぐため、貼付部位を毎回変更する必要もあります。

今回は、エメダスチンフマル酸塩の経皮吸収型製剤と内服薬を表にまとめました。ご参考にしていただければ幸いです。

商品名	アレサガ®テープ 4mg, 8mg	レミカット®カプセル 1mg, 2mg
一般名	エメダスチンフマル酸塩	
剤形	テープ剤	カプセル剤
効能・効果	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎, 蕁麻疹, 湿疹・皮膚炎, 皮膚掻痒症, 痒疹
用法・用量	成人: エメダスチンフマル酸塩として, 1回4mgを, 胸部・上腕部・背部・腹部のいずれかに貼付し, 24時間毎に貼り替える。 症状に応じて1回8mgに増量できる。	エメダスチンフマル酸塩として1回1~2mgを1日2回, 朝食後及び就寝前に経口投与する。
自動車の運転	眠気を催すことがあるので, 本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう十分注意する。	
主な副作用	適用部位紅斑(10.9%), 適用部位掻痒感(4.5%), 適用部位丘疹(2.0%), 眠気(4.9%)	眠気(6.30%), 倦怠・脱力感(0.61%), 口渇(0.23%), 腹痛(0.14%), ふらつき(0.13%), 頭痛・頭重感(0.11%), 頭がボーッとする(0.10%), ALT(GPT)上昇(0.21%), AST(GOT)上昇(0.16%), LDH上昇(0.13%), -GTP上昇(0.10%)
1日薬価	4mg使用時 67.5円 8mg使用時 93.1円	1mg使用時 61.6円 2mg使用時 79.2円

参考文献: 各社インタビューフォーム,  
やさしい臨床医学テキスト, 病気がみえるvol.6 免疫・膠原病・感染症,  
鼻アレルギー診療ガイドライン - 通年性鼻炎と花粉症 - 2016年度版 (改訂第8版)

(鹿児島市医師会病院薬剤部 前山 愛里)

